

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	令和4年度 第3回 嬉野市男女共同参画審議会		
開催日時	令和4年11月29日(火) 14:00~16:00		
開催場所	うれしの市民センター 会議室2		
傍聴の可否	(可) ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委 員	松本泰宏委員、大曲康智委員、富永辰弘委員、諸岡博子委員、永田由美委員、大久保貴美子委員、岡典子委員、中島恵美子委員、草刈哲平委員、田口香津子委員	
	事務局	企画政策課長(松本)、同副課長(織田)	
	その他	藤田達美委員は欠席、宮崎杏美委員は遅れて出席	
会議の議題	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 (1) 第4次男女共同参画行動計画について【素案の検討】 4. その他 (1) 今後の審議会開催予定について 第4回審議会・第5回審議会 5. 閉会		
配布資料	・ 素案		
審議等の内容	別紙のとおり		

審議等の内容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	3. 議題 (1) 第4次男女共同参画行動計画について【素案の検討】		
内 容	「素案」についての説明、質疑応答		
審議経過	事務局	素案について説明。	
	会長	事務局より説明があったが、質問等ないか。	
	委員	前計画には記載があった「事業の実施の時期」について、今回はどのように考えているのか。	
	事務局	前期計画では「D：将来的に実現を目指す」という曖昧な表現であったため、行動計画にあげている事業については計画期間中に「確実に取り組む」という捉え方の方がよいのではないかと考えている。事業の実施時期について明確にした方がよいという意見があれば検討したい。	
	委員	基本目標や重点目標についての目標値や達成基準、評価指標等の設定はないのか。例えば、81頁の基本目標1：あらゆる分野における女性の参画拡大に「市の各種審議会等の女性委員の割合」があげられているが、これに該当するのは重点目標の1だけである。重点目標2：就業や雇用分野における男女共同参画の推進に関しての指標や目標が読み取れない。	
	事務局	新たな指標を設定するにあたって、意識調査の結果の数値を使って、例えばLGBTの認知度等を設定して次回の意識調査までに達成すべき目標値を設定することは可能である。	
	委員	今回は設定しないのか。	
事務局	今のところ、そこまで設定していない。		

審議経過	会長	時間的な会議のスケジュールで難しいということか。 必要なことであり、指標や目標値がない計画はいかがなものか。
	委員	事業数が多い状況で目標値・指標がはっきりしていなければ、事業を行うだけで終わってしまい、効果につながっているかわからない。
	会長	具体的な目標や数値目標が見えておらず、前回会議の「可能な限り数値目標を取り入れてほしい」という意見が入っていない。「努めます、充実します」となっており、5年後も結局同じ状況になるのではないか。この計画では、どれだけ進捗したのか見えてこない。
	委員	例えば、1年スパンで指標をチェックし、数値が上がっていなければ見直し、検討を行い、より良くすることが必要だと思う。また、アンケート結果の数値を活用することもよいと思う。できるだけ数値がわかる方がよいのではないか。
	委員	121の事業すべてに目標をつけるということではなく、基本目標と重点目標に指標をつけてほしい。
	事務局	数値目標を掲げられるものに関しては、明確にするために目標値をつける方向で検討する。
	委員	第3次計画の達成率は、100以上の事業すべて出ているのか。 例えば他の市で50程度の事業数で達成率が100%に近いのと、嬉野市は170の事業があつて達成率が20%しかないということであれば、考え方が違う気がする。事業数が多すぎて出来ていないのか、根本的に考える必要もあると思う。
	事務局	5か年の計画であるため、毎年審議会の委員に前年度の状況について審議してもらっている。来年度は令和4年度の審議をしながら、新しい令和5年度からの計画の取組を実施してもらおう形になるが、全体の達成率については出せない。
	委員	出来ないことをずっと続けても同じではないか。なぜ達成できないかを考えた方がよいと思う。たくさん事業をあればよい訳ではないと思う。
事務局	事業については、同じ「実施した」であっても実施状況はそれぞれ異なっている。第3次の検証は必要であるが、現在このような評価しかできない計画になっていたということで、今回の計画ではその	

審議経過	委員	<p>点を改めたい。委員の指摘にあったように、実施したかどうかだけでなく、数値目標を設定し何%達成したのか、実施しているにも関わらず数値があがらない場合もあるかと思うが、そのような検証ができるような計画とする方向で検討する。</p> <p>計画を立てたら、実行し、評価・チェックを行うが、その評価を誰がするのかという点で変わってくると思う。行政側が事業を実施したかどうかのチェックを行うことと、事業を実施した結果として市民の意識がどのように変わったのか、両方のチェックをどうするのが現在は曖昧になっていると思う。</p> <p>例えば、「出前講座を開催します」とあるが、年間10地区・10回は実施するというように、各課で数値的な目標が設定されると曖昧にならないので、行政側のチェックがしやすいのではないかと。</p> <p>また、企画政策課、文化・スポーツ振興課、社会教育課の取組が多いので、それぞれがバラバラで取り組むのではなく連携すれば、事業数は121あるが、もっとシンプルに効率的にまとめられるのではないかと思う。</p>
	事務局	<p>評価のあり方については、行政側が実施したかどうかだけでなく、第4次からは数値目標を設定し客観的な面からの評価を取り入れたい。5年に1度実施している意識調査の改善も指標の1つとし、指標の精査を行いたい。</p>
	委員	<p>建前上の計画になっているのではないかと思う。具体性に富んだ取り組みやすい形で、市民に添った嬉野市独自の計画にすべきである。</p>
	事務局	<p>社会の流れや国の取組に沿って取り組まなければならないこともあるが、「設置する」としていても嬉野市の規模では設置が難しいこともある。実施の部分については、各担当課にヒアリングを行い必要な事業について記載している。今後は、達成度合いについての評価ができるような計画としたいと思っている。</p>
	委員	<p>第3次計画では、現在、実施しているかどうかはわかったが、「B：現在実施しているが次年度から内容を充実する事業」や「C：2022年度までに実施する事業」のような事業が第4次の素案の中にもあるということか。</p>
	事務局	<p>事業の実施については、計画として実施しなければならない事業や、継続して実施するからこそ成り立つ事業もある。第4次では事業については全体的に取り組むべきであると考え、区分については提案</p>

審議経過		していなかった。
	会長	確かに、第3次計画をみると、Aが現在行っている事業の継続で、Bが次年度から内容を充実するということがわかったり、どこに力を入れようとしているかが見えていたが、今回は見えない。また、新たな事業については口頭で説明があったので把握することができた。しかし、121項目が並んでいるだけなので、どこを充実しようとしているかが第3次より見えにくくなっているようだ。
	委員	嬉野市独自の内容を盛り込んだ計画にすべきであり、子育て支援に関してどのように進めていくのか、女性や子どもに関する特色のある取組を1つでも入れたらよいのではないか。
	事務局	嬉野市では、女性が輝くまちづくりに重点的に取り組んでいるため、新たな部分として入れている。加えて、担当課と協議し嬉野市独自の部分を盛り込んでいきたい。 事業の実施時期についてまだ協議していないが、時期があった方が明確だという意見があるので記載したい。標記の方法については意見をいただきながら検討したい。
	委員	わかりにくい部分があるので、事業の実施時期については記載があった方がよいと思う。
	委員	実際の計画がきめ細かになっているので、評価がないと目標の意味がないということもわかる。また、事業の普及率が低いと感じる。理想は理想としてあげ、その中でも確実にできることや早期に行うべきことについて目標値を掲げると見やすくなるのではないか。1年後に評価するのであれば、出来ることを具体的に数字であげ、理想は理想として掲げてよいのではないか。
	委員	例えば、目標の中に「男女共同参画社会について知っていますか」とあるが、私の身近な人は知らない人が多い。また、地域においても男女平等の意識は今一つ浸透していない。男女共同参画について、どのようにして広めていくのか、どのような方法で取り組めば浸透していくのか考える必要があると思う。
	委員	第3次計画では、実施時期をみて、Aとあれば嬉野市が行っていることが一目瞭然でわかり、Cで2022年度までとなっている場合でも、前倒しで既にできていることもあるのでわかりやすかった。

審議経過	会長	事業の実施時期があることで、見通しができる。これまでの意見をまとめると、実施時期を第4次にも入れてほしいという意見がでていいる。また、新規事業については新規であるとわかるように、事業の位置づけがよりわかりやすいよう工夫してほしいという意見である。
	事務局	実施時期は記載し、その区分については、より適した表現に変更を検討したい。また、数値目標値についてもできる限り、対応した部分に掲げることで調整したい。指標は国が定めている指標を計画の体系に合わせて取り入れる。市民の意識の向上で変わった部分を1つの事業の成果として考え、データとして意識調査の結果を活用したいと考えている。
	委員	第3次計画の26頁の「日本語教室の実施」について、素案の75頁に記載がないが、どうしてなのか。
	事務局	日本語教室の実施については、素案の53頁の57番と58番に盛り込んでいる。
	委員	国際交流員が日本語教室をしているので、国際分野ではないかと思った。
	事務局	日本語教室という名目で実施しているかは不明だが、内容は国際交流に近い事業となっている。その中には日本語教育も含まれているので、少数者への支援として57番に入れている。 また、「カフェこくさいじん」を実施しており、現在は市内の在住外国人の日本語の学習機会の提供をしているとのことで、日本語を必要とする人への支援に入れている。
	委員	実際は、一緒に祭りに参加したり交流の場を広げる意味合いもあると思うが、事業の内容からすると事務局の意見も尤もだと思うので納得した。
	会長	市民意識調査は他の自治体でも実施しているようだが、関係団体ヒアリングは他の自治体でも行っていることなのか。他にない取組であれば嬉野市独自のものになると思った。
	事務局	計画の策定時には市民団体や事業者に話をきいているが、特に男女共同参画に関しては、女性の活動ネットワークや人権に関する市民の活動が支えになっている部分があるため、日頃の活動や現状の認

審議経過	会長	識についてヒアリングを行っている。
	事務局	他の市町村の計画に当たり前に載っているのか。
	事務局	実施しているかどうかの把握はできないが、他の市町の計画に関係団体ヒアリングや施策の実施状況について盛り込んであるのはほとんどない。
	会長	下地としては実施されているかもしれないが、計画の中に項目を立てているのはあまり見たことがなかった。14の関係団体のヒアリングの内容を計画に反映できているのは、嬉野市の独自性になるのではないか。
	委員	事業の担当課が書かれているが、重点目標に対して達成できているかどうかの責任と権限はどの部署がもつのか。
	事務局	とりまとめの担当は企画政策課となる。各事業を男女共同参画の事業にまとめる役割が企画政策課となる。
審議経過	会長	他に意見等ないので、議事は終了する。
その他		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	4. その他		
内 容	(1) 今後の審議会開催予定について		
審議経過	事務局	<p>本日の議事内容を盛り込んだ提案内容を委員の皆様にはお示しする。 第4回審議会は12月20日(火)14時からと予定してたが、各課との協議及び修正に時間をいただきたい。 第4回審議会については1月を予定し、日程が決定したらお知らせする。</p>	
その他			